

社会的認証報告書（科目認証制度）

（科目区分：「政策得意分野づくり」）

科目名：ICT の活用による地域課題解決	担当者：畑中寛、高畑明尚、貝塚元彦
科目グループ：ソーシャル・ファイナンス ※科目区分が「政策得意分野づくり」の場合に記載されます。	

基準項目	評価要素	コメント・評価	評価
基準 1-1	<ul style="list-style-type: none"> 科目を設置する目的として、明確な教育目標と育成する人材像を説明しているか。 	科目説明書より地域公共政策士の学習アウトカムを踏まえた具体的な教育目標、人材像が説明されていることを確認した。	A
	<ul style="list-style-type: none"> 当機構が定める学習アウトカムの定義から、学習アウトカムの定義が定められているか。 	科目説明書より地域公共政策士の学習アウトカムの定義から学習アウトカムが設定されていることを確認した。	A
基準 2-1	<ul style="list-style-type: none"> 学習アウトカム達成の視点から科目で実施する教育内容について説明されているか。 	科目説明書からは、ICT の活用やそれに基づく課題解決方法の養成に重きが置かれており、ソーシャル・ファイナンスに関連する講座としての科目要件が薄い印象。ICT を活用した資金調達や金融の有り方に特化した内容が含まれることを期待する。	B
	<ul style="list-style-type: none"> 教育要素の科目要件に沿って具体的な教育内容が説明されているか（基準 2-2 の科目内容と合わせて評価する）。 科目別の評価要素 教育内容に関する評価目安として、教育要素に基づく科目要件の確認項目のうち、1 項目の欠損で指摘事項、2 項目の欠損で改善勧告、3 項目の欠損で保留とする。 ・地域政策について触れているか。 ・A：対象とする分野の政策過程に関する制度理解として関係する法律、制度、組織などについて解説しているか。 ・B：対象とする分野を推進するためのコミュニケーション法やファシリテーション手法などの技法について解説しているか。 ・C：対象とする分野の政策過程として、分野に関するケースメソッド、政策形成、意思決定のあり方や分析方法について解説しているか。 ・A、B、C いずれか 1 つ以上の内容をふまえ、講義時間において 2/3 以上が上記内容についてふれている科目か。 	「政策得意分野づくり」の教育要素に対して、ICT 活用の視点を通じた課題対応能力を養成する教育内容となっているが、地域政策についての内容が薄い。地域課題に対して、ソーシャル・ファイナンスの分野でいかに ICT を活用して取り組むのか、わかりにくい。	B

評価区分：AAA：基準を満たし、実施機関の特色を活かした優れた取り組みが実施されている。AA：準を満たし、優れた取り組みが実施されている。A：基準を満たしている。B：概ね基準を満たしているが、部分的な指摘内容がある（指摘事項に相当する点がある）。BB：部分的に基準を満たしているが、改善すべき内容がある（改善勧告に相当する点がある）。BBB：基準を満たしていない（保留に相当する内容がある）。

	・学習アウトカム評価に関する設問が適切に設定されているか。		
基準 2-2	・ 科目の教育内容について、時系列にそった説明ができていますか。	科目説明書より、科目の教育内容について、時系列に沿った説明がされていることを確認した。	A
	・ 科目の教育内容を踏まえて、学習アウトカムの自己評価に関する設問が適切に作成されているか。	科目に設定した学習アウトカムと科目内容を踏まえた具体的な設問が設定されていることを確認した。	A
基準 2-3	・ 学習アウトカムの達成という視点から授業形式について説明されているか。	科目説明書より、科目内容に対応した講義形式が説明されていることを確認した。	A
	・ 授業形式と科目担当者の資質が説明されているか。	科目説明書及び基礎データより、講義内容と科目担当者の専門性が一致していることを確認した。 また、講義目的を達成するために専任教員と実務家が連携した教育体制が構築されており、実践的な学習アウトカムの獲得が期待できる。	A
基準 2-4	・ 対象とする学習者が想定されているか。	科目説明書より、科目の対象者を明確に定めていることを確認した。 なお、本科目は社会人向けの公開授業としても開講されており、適切に周知されていることも確認した。	A
	・ 想定した学習者に対応した開講形態がとられているか。	科目説明書より、上記の対象者に対応した開講形態がとられていることを確認した。	A
	・ 学習者が科目を受講する手続きについて説明がされているか。	科目説明書より、科目受講者の登録方法などの手続きが定められていることを確認した。	A
基準 3-1	・ 成績評価の基準と方法を定めているか。	科目説明書より、成績評価の基準と方法が定められていることを確認した。 なお、公開授業の成績評価方法が明記されていないが、公開授業の受講者はプレゼンテーションやグループ発表により履修評価を実施されることを確認した。 資格教育プログラムの科目であるため、予め受講者が成績評価基準などが事前に明文化して周知されることが望ましい。科目を運用していく中での改善を望む。	B
	・ 成績評価の基準と方法を明文化して学習者に周知する方法が定められているか。	公開授業の成績評価方法が明記されていないが、公開授業の受講者はプレゼンテーションやグループ発表により履修評価を実施されることを確認した。資格教育プログラムの科目であるため、予め受講者が成績評価基準などが事前に明文化して周知することが基準では求められる。科目を運用していく中での改善を望む。	B
	・ 成績証明書等の発行方法が定められているか。	大学に所属する学生が正科目として受講した場合は琉球大学の成績証明書にて発行される仕組みである。また、公開授業で受講した学習者の成績証明書は、成績評価と 7 割の出席率を満たし学習者に、履修証明書が検討される仕組みであることを確認した。	A
基準 3-2	・ 異議申立の仕組みが明文化されているか。	科目説明書より、異議申し立てのしくみを明文化していることを確認した。	A

評価区分：AAA：基準を満たし、実施機関の特色を活かした優れた取り組みが実施されている。AA：準を満たし、優れた取り組みが実施されている。A：基準を満たしている。B：概ね基準を満たしているが、部分的な指摘内容がある（指摘事項に相当する点がある）。BB：部分的に基準を満たしているが、改善すべき内容がある（改善勧告に相当する点がある）。BBB：基準を満たしていない（保留に相当する内容がある）。

		なお、公開授業の学習者に対しても同様の仕組みが適用されるのがエビデンスからは確認できなかったため、わかりやすく周知することが望ましい。	
	・ 異議申立の制度は、公正な判断を保證できる仕組みとなっているか。	科目説明書より確認した異議申し立ての仕組みは、第三者性を確保しており公正な判断を担保した仕組みであることを確認した。	A
基準 4-1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 科目を継続的に管理・運営する体制が整えられているか。 ・ 管理・運営する体制の中で、科目を点検し、改善する仕組みが説明されているか。 	科目説明書より、沖縄産学官協働人材育成円卓会議のワーキンググループにて科目を運用し、改善をはかっていく仕組みであることを確認した。	AA

評価区分：AAA：基準を満たし、実施機関の特色を活かした優れた取り組みが実施されている。AA：準を満たし、優れた取り組みが実施されている。A：基準を満たしている。B：概ね基準を満たしているが、部分的な指摘内容がある（指摘事項に相当する点がある）。BB：部分的に基準を満たしているが、改善すべき内容がある（改善勧告に相当する点がある）。BBB：基準を満たしていない（保留に相当する内容がある）。

認証結果	
評価結果	適合
認証期間	2020年4月1日～2027年3月31日
科目認証番号	第 K200001 号
指摘事項	
勧告事項	
評価すべき点	沖縄産学官協働人材育成円卓会議がしっかり機能して、管理・運営する体制が整えられていることは高く評価できる。
助言・課題	公開授業においても、成績評価の基準や方法、異議申し立ての仕組みを周知することを求める。

以上

評価区分：AAA：基準を満たし、実施機関の特色を活かした優れた取り組みが実施されている。AA：準を満たし、優れた取り組みが実施されている。A：基準を満たしている。B：概ね基準を満たしているが、部分的な指摘内容がある（指摘事項に相当する点がある）。BB：部分的に基準を満たしているが、改善すべき内容がある（改善勧告に相当する点がある）。BBB：基準を満たしていない（保留に相当する内容がある）。